

懸賞SA 解答 2024年 1月号

問1 正解③ 同一の事件において、同じ場所で、同時に搜索と差押えを併せて行う場合、搜索差押許可状という1通の令状によることは、憲法35条2項の趣旨に反しない（最大判27.3.19）。

問2 正解② 警職法2条4項にいう「逮捕」とは、その趣旨から考えて、刑事訴訟に関する法律に基づく身柄の拘束全てを意味することから、勾引状、勾留状等の執行を受けた者も同項の凶器捜検の対象となる。

問3 正解① 刑罰法規は、原則として、日本国内において罪を犯した全ての者及び日本国外にある日本船舶又は日本航空機内において罪を犯した者につき、その被疑者の国籍を問わず適用されることとなる（刑法1条）。これを「属地主義」という。

問4 正解⑤ 取調べが相当期間中断した後再びこれを開始する場合、又は取調べ警察官が交代した場合には、改めて供述拒否権を告知しなければならない（犯捜規169条2項）。

問5 正解④ 懲戒処分 の指針においては、規律違反行為の態様と基本となる懲戒処分の種類に関する組合せが定められている。この点、規律違反行為の一態様である「公共の乗り物等において痴漢をすること」は、基本となる懲戒処分の種類として、「停職又は減給」が定められている。

問6 正解③ 地域住民に対し、性犯罪、ひったくり、児童を対象とした連れ去り事案や声掛け事案など、女性・子供が被害者となる事案の発生に関する情報について、交番・駐在所広報紙、都道府県警察のウェブサイト、電子メール等による情報発信活動を実施する。

問7 正解② 被害の届出に対しては、被害者・国民の立場に立って対応し、その内容が明白な虚偽又は著しく合理性を欠くものである場合を除いて、即時受理しなければならない。

問8 正解① 交通安全の意識や行動は、一朝一夕に身につけて習慣化させることが困難であるから、人間の成長過程に合わせて、生涯にわたり学習を促していく必要がある。そこで、交通安全教育指針では、幼児、児童、中学生、高校生、成人及び高齢者の各年齢層に応じた交通安全教育の内容、方法を明示し、交通安全教育の体系化を図っている。

問9 正解④ 中核派の正式名称は、革命的共産主義者同盟全国委員会であり、昭和38年2月に革マル派と分裂して結成された。なお、日本革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義派は、革マル派の正式名称である。

問10 正解⑤ ブラジル連邦共和国の首都はブラジリアである。かつてはリオデジャネイロが首都であったが、1960年（昭和35年）にブラジリアに遷都された。